

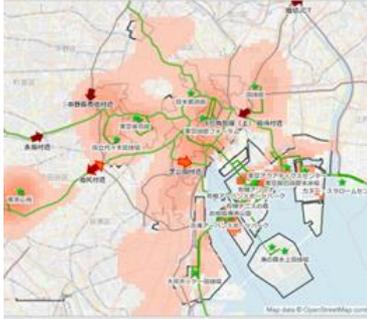
大会時の遅延等を想定した所要時間・経路探索システムについて

別添資料

1 機能

- ◆ 任意の出発地・目的地を入力することで、大会時の**所要時間増**や**う回ルート**等を案内

大会輸送影響度マップ^① (従来)



色の濃淡で所要時間増の程度を確認

新たなシステム

① **出発地、目的地、時間帯**を指定

晴海トリトン
東京都庁
8時 0分
出発 到着
ORNP/PRN回避 ON OFF
※ORNP/PRN回避する場合は「ON」、しない場合は「OFF」に変更
高速道路 利用する 利用しない
再検索

② **通常時の所要時間、大会時の所要時間**を確認

自動車 (大会時ルート)	1時間 10分	高速利用 なし	10.3km
自動車 (通常時ルート)	26分	高速利用 あり	16.3km
電車	43分		280円 乗換0回

③ **前後の時間帯、夜間の所要時間**を確認

※指定された所要時間は、リアルタイムの交通情報に基づく所要時間ではありません。
※特異日や雨天、事故などによる所要時間の増大は考慮されていません。
※提示する所要時間より時間がかかるケースもございます。

大会時ルート	通常時ルート	電車ルート
晴海トリトン		24m
晴月橋南		470m
交差点 府道通り		321m
勝どき駅前 晴海通り		2.0km
東京都庁		

他の時間帯の所要時間を見る



2 活用例

- ◆ 通常時と所要時間を比べることで自社の活動への影響を把握
- ◆ 別の時間帯に出発をずらした場合や鉄道を利用した場合の所要時間などをもとに影響を回避する方法を検討 (鉄道については、通常時の最短所要時間・経路で算出されます。)
- ◆ 出発地と目的地の郵便番号を複数入力し、一括検索した結果から、対策に取り組む必要性が高い施設を把握 など